

○JTの実践③：意図的○JTの計画

1. ○JT計画書の標準的モデル

①○JTの基本構想

これは、職場レベルでの○JTの基本構想をまとめるものです。まず、部門の方針、目標を確認した上で、**業務上の重点目標**を設定し、それとの関連で、職場全体として取り組まなければならない**能力開発の重点ニーズ**を明らかにします。次に**職場全体に共通する重点目標**を設定し、さらに、その目標を実現するための基本的な方策の構想、指導者として心がけなければならないポイントや留意点をまとめます。それぞれの目標に対応する**指導育成の支援策**を具体化することによって、○JTの基本構想が具体化されます。

②個別指導育成計画

基本構想に基づき、部下一人ひとりについて個別指導の育成計画をまとめるものです。個別のフォーマットで作成する場合には、**中・長期の視点で一人ひとりのキャリア開発を構想しながら作成し**、育成記録として人事異動等の場合には引き継ぎを行っていくことが大切です。

③私の目標チャレンジシート

上司が「○JTの基本構想」で作成した職場単位の方針、目標を受け、また、前年度を振り返り、将来を展望しながら部下が策定することになります。

2. 計画書作成と育成面接

「個別指導育成計画」および「私の目標チャレンジシート」は、最終的には上司と部下とが「育成面接」を通じてニーズ・目標のスリ合わせを行い、合意の上で決定します。

